

市内経営動向調査 平成30年1月～3月期 (第4四半期)

- ① 調査の時期 平成31年4月 ② 調査の期間 平成31年1月～3月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 144社 (回答率51.4%)
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H30.1月～3月)、前年同期比採算動向
(H30.1月～3月)を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では全ての調査項目でDI値が悪化した。
業種毎では建設業の数値が全ての項目で改善しているものの、その他の業種で全ての項目が悪化した。悪化要因としては、受注・売上減、人手不足、原料費高騰との声が多く、有給取得義務化や税制改革を懸念する声も寄せられている。全国的には、深刻な人手不足の影響拡大や消費者の根強い節約志向、原材料費の高止まりを懸念する声が依然として多く、中小企業の景況感は足元でほぼ横ばいとなっている。

○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
前回全業種の中で最も高い数値であった製造業では、▲21.9(前回比-0.5ポイント)とDI値は微減したものの、依然として全業種の中で高い数値を維持している。また2期連続で悪化していた建設業が今回▲22.2(前回比+9.4ポイント)と唯一改善に転じた。一方、サービス業では▲41.9(前回比-14.4ポイント)、卸・小売業では▲51.4(前回比-15.3ポイント)と両業種とも前期はプラスの動きをしていたが、今期は大きく悪化に転じた。

○市内業界の景況感

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
市内景況感と同様、2期連続で悪化していた建設業では▲22.2(前回比+4.2ポイント)と改善に転じ、その他の業種は悪化した。製造業では▲21.9(前回比-11.1ポイント)と悪化しながらも他業種に比べ高い数値を維持している。卸・小売業では▲56.8(前回比-26.3ポイント)と今期大きく悪化に転じ、過去5年間で最も低い数値となった。前期の変動と比較し、DI値の一進一退の動きが大きく見られ、他の業種と比較し低い数値が続いているため、今後の動向に注視が必要である。

○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
サービス業は今期▲35.5(前回比-32.1ポイント)と下げ幅が大きく、卸・小売業は▲40.5(前回比-15.6ポイント)と前回に続き2期連続で悪化している。一方、建設業は▲26.7(前期比+7.3ポイント)と2期連続で改善しており、他業種と対照的な動きをしている。

○前年同期比の採算動向

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
前期で最も数値が低かった建設業では、他の調査項目に比例して▲22.7(前回比+14.2ポイント)と改善に転じた。一方、製造業▲37.5(-30.4ポイント)、サービス業▲38.7(-24.9ポイント)、卸・小売業▲36.1(-11.1ポイント)と悪化した要因として、原材料や燃料等の仕入れ価格が高騰している声が寄せられていることから、企業の利益確保を課題とする姿勢が窺える。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 33.8				全業種 DI値 ▲ 35.2				全業種 DI値 ▲ 29.0				全業種 DI値 ▲ 32.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	0.69%	0.7	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	4	2.76%	2.8	2.良い	3	2.07%	2.1	2.やや増加	19	13.10%	13.1	2.やや好転	11	7.69%	7.7
3.普通	88	60.69%	60.7	3.普通	88	60.69%	60.7	3.変わらない	63	43.45%	43.4	3.変わらない	74	51.75%	51.7
4.悪い	49	33.79%	33.8	4.悪い	50	34.48%	34.5	4.やや減少	41	28.28%	28.3	4.やや悪化	42	29.37%	29.4
5.大変悪い	4	2.76%	2.8	5.大変悪い	4	2.76%	2.8	5.減少	21	14.48%	14.5	5.悪化	16	11.19%	11.2
建設業 DI値 ▲ 22.2				建設業 DI値 ▲ 22.2				建設業 DI値 ▲ 26.7				建設業 DI値 ▲ 22.7			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.22%	2.2	2.良い	1	2.22%	2.2	2.やや増加	5	11.11%	11.1	2.やや好転	4	9.09%	9.1
3.普通	33	73.33%	73.3	3.普通	33	73.33%	73.3	3.変わらない	23	51.11%	51.1	3.変わらない	26	59.09%	59.1
4.悪い	11	24.44%	24.4	4.悪い	11	24.44%	24.4	4.やや減少	10	22.22%	22.2	4.やや悪化	10	22.73%	22.7
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	7	15.56%	15.6	5.悪化	4	9.09%	9.1
製造業 DI値 ▲ 21.9				製造業 DI値 ▲ 21.9				製造業 DI値 ▲ 12.5				製造業 DI値 ▲ 37.5			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	3.13%	3.1	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	9.38%	9.4	2.良い	2	6.25%	6.3	2.やや増加	6	18.75%	18.8	2.やや好転	3	9.38%	9.4
3.普通	19	59.38%	59.4	3.普通	21	65.63%	65.6	3.変わらない	14	43.75%	43.8	3.変わらない	14	43.75%	43.8
4.悪い	9	28.13%	28.1	4.悪い	8	25.00%	25.0	4.やや減少	7	21.88%	21.9	4.やや悪化	12	37.50%	37.5
5.大変悪い	1	3.13%	3.1	5.大変悪い	1	3.13%	3.1	5.減少	4	12.50%	12.5	5.悪化	3	9.38%	9.4
卸・小売業 DI値 ▲ 51.4				卸・小売業 DI値 ▲ 56.8				卸・小売業 DI値 ▲ 40.5				卸・小売業 DI値 ▲ 36.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	4	10.81%	10.8	2.やや好転	2	5.56%	5.6
3.普通	18	48.65%	48.6	3.普通	16	43.24%	43.2	3.変わらない	14	37.84%	37.8	3.変わらない	19	52.78%	52.8
4.悪い	16	43.24%	43.2	4.悪い	18	48.65%	48.6	4.やや減少	15	40.54%	40.5	4.やや悪化	12	33.33%	33.3
5.大変悪い	3	8.11%	8.1	5.大変悪い	3	8.11%	8.1	5.減少	4	10.81%	10.8	5.悪化	3	8.33%	8.3
サービス業 DI値 ▲ 41.9				サービス業 DI値 ▲ 41.9				サービス業 DI値 ▲ 35.5				サービス業 DI値 ▲ 38.7			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	4	12.90%	12.9	2.やや好転	2	6.45%	6.5
3.普通	18	58.06%	58.1	3.普通	18	58.06%	58.1	3.変わらない	12	38.71%	38.7	3.変わらない	15	48.39%	48.4
4.悪い	13	41.94%	41.9	4.悪い	13	41.94%	41.9	4.やや減少	9	29.03%	29.0	4.やや悪化	8	25.81%	25.8
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	6	19.35%	19.4	5.悪化	6	19.35%	19.4

市内経営動向調査 平成30年度第4四半期（平成31年1月～3月）DI景況感 ※DI値は平成31年第3四半期（平成31年10月～12月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲29.9 ⇒ ▲33.8 ↘  ⇒  ↓	DI ▲26.8 ⇒ ▲35.2 ↘  ⇒  ↓	DI ▲18.3 ⇒ ▲29.0 ↘  ⇒  ↓	DI ▲22.1 ⇒ ▲32.9 ↘  ⇒  ↓
建設業	DI ▲31.6 ⇒ ▲22.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲26.4 ⇒ ▲22.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲34.0 ⇒ ▲26.7 ↘  ⇒  ↑	DI ▲36.9 ⇒ ▲22.7 ↘  ⇒  ↑
製造業	DI ▲21.4 ⇒ ▲21.9 ↗  ⇒  ↓	DI ▲10.8 ⇒ ▲21.9 ↗  ⇒  ↓	DI ▲3.5 ⇒ ▲12.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲7.1 ⇒ ▲37.5 ↗  ⇒  ↓
卸・小売業	DI ▲36.1 ⇒ ▲51.4 ↗  ⇒  ↓	DI ▲30.5 ⇒ ▲56.8 ↘  ⇒  ↓	DI ▲24.9 ⇒ ▲40.5 ↘  ⇒  ↓	DI ▲25.0 ⇒ ▲36.1 ↘  ⇒  ↓
サービス業	DI ▲27.5 ⇒ ▲41.9 ↗  ⇒  ↓	DI ▲38.0 ⇒ ▲41.9 ↘  ⇒  ↓	DI ▲3.4 ⇒ ▲35.5 ↘  ⇒  ↓	DI ▲13.8 ⇒ ▲38.7 ↘  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



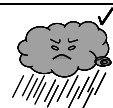
DI10～▲10



DI▲11～▲40

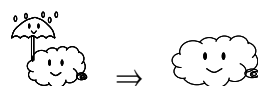


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0 ⇒ ▲10.0 ↗ (平成21年度第1四半期～平成30年度第4四半期の傾向)



↑ (平成30年度第3四半期と平成30年度第4四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」2.8% (3.0%)、「普通」60.7% (64.1%)、「悪い」33.8% (29.8%)、「大変悪い」2.8% (3.1%) となり、DIは▲33.8 (▲29.9) と3.9ポイント悪化した。
業種別DIでは、建設業のみプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業がマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」2.1% (5.3%)、「普通」60.7% (62.6%)、「悪い」34.5% (28.2%)、「大変悪い」2.8% (3.9%) となり、DIは▲35.2 (▲26.8) と8.4ポイント悪化した。
業種別DIでは、建設業のみプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業がマイナスに作用した。

③ 前年同期 (平成30年1月～3月) 比の売上動向について

「増加」0.7% (2.3%)、「やや増加」13.1% (16.8%)、「変わらない」43.4% (43.5%)、「やや減少」28.3% (24.4%)、「減少」14.5% (13.0%) となり、DIは▲29.0 (▲18.3) と10.7ポイント悪化した。
業種別DIで建設業のみプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業がマイナスに作用した。

④ 前年同期比 (平成30年1月～3月) の採算動向について

「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」7.7% (13.0%)、「変わらない」51.7% (51.9%)、「やや悪化」29.4% (26.7%)、「悪化」11.2% (8.4%) となり、DIは▲32.9 (▲22.1) と10.8ポイント悪化した。
業種別DIで建設業のみプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業がマイナスに作用した。

(建設業) 回答：78社中45社、回答率57.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」2.2% (2.6%)、「普通」73.3% (63.2%)、「悪い」24.4% (29.0%)、「大変悪い」0.0% (5.2%) となり、DIは▲22.2 (▲31.6) と9.4ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」2.2% (2.6%)、「普通」73.3% (68.4%)、「悪い」24.4% (21.1%)、「大変悪い」0.0% (7.9%) となり、DIは▲22.2 (▲26.4) と4.2ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0% (0.0%)、「やや増加」11.1% (8.0%)、「変わらない」51.1% (50.0%)、「やや減少」22.2% (21.0%)、「減少」15.6% (21.0%) となり、DIは▲26.7 (▲34.0) と7.3ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」9.1% (2.6%)、「変わらない」59.1% (57.9%)、「やや悪化」22.7% (31.6%)、「悪化」9.1% (7.9%) となり、DIは▲22.7 (▲36.9) と14.2ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売り上げ動向

好転要因では、受注件数の増加や税制改革を睨んだ駆け込み需要などの回答があった。
悪化要因では、公共工事の減少や工事の小規模化などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好調要因では、受注件数が増加したためなどの回答があった
悪化要因では、受注の減少や価格競争、材料費値上げ、人手不足の影響などの回答があった。

○経営上の問題

技術者などの高齢化や、人員不足の声が多く寄せられた。

(製造業) 回答：64社中32社、回答率50.0%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」9.4% (3.6%)、「普通」59.4% (71.4%)、「悪い」28.1% (21.4%)、「大変悪い」3.1% (3.6%) となり、DIは▲21.9 (▲21.4) と0.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」6.3% (17.8%)、「普通」65.6% (53.6%)、「悪い」25.0% (25.0%)、「大変悪い」3.1% (3.6%) となり、DIは▲21.9 (▲10.8) と11.1ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」3.1% (10.7%)、「やや増加」18.8% (17.9%)、「変わらない」43.8% (39.3%)、「やや減少」21.9% (14.3%)、「減少」12.5% (17.8%) となり、DIは▲12.5 (▲3.5) と9.0ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」9.4% (17.9%)、「変わらない」43.8% (57.1%)、「やや悪化」37.5% (10.7%)、「悪化」9.4% (14.3%) となり、DIは▲37.5 (▲7.1) と30.4ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、国内、海外からの受注増加、県外への営業強化、学校新築に伴う製品受注などの回答があった。
悪化要因では、受注の減少や原料の不足、販売価格の下落などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、値上げによる価格転嫁との回答があった。
悪化要因では、受注減少や人件費、原材料費、運搬費などの経費の増加といった回答があった。

○経営上の問題

人材不足との声が多かった。また原材料の高騰や有給休暇取得義務化に関する懸念が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中36社、回答率49.3%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (2.8%)、「普通」48.6% (58.3%)、「悪い」43.2% (36.1%)、「大変悪い」8.1% (2.8%) となり、DIは▲51.4 (▲36.1) と15.3ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (2.8%)、「普通」43.2% (63.9%)、「悪い」48.6% (30.6%)、「大変悪い」8.1% (2.7%) となり、DIは▲56.8 (▲30.5) と26.3ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0% (0.0%)、「やや増加」10.8% (16.7%)、「変わらない」37.8% (41.7%)、「やや減少」40.5% (33.3%)、「減少」10.8% (8.3%) となり、DIは▲40.5 (▲24.9) と15.6ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」5.6% (11.1%)、「変わらない」52.8% (52.8%)、「やや悪化」33.3% (30.6%)、「悪化」8.3% (5.5%) となり、DIは▲36.1 (▲25.0) と11.1ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、人手不足に伴う手間を省いた食材への需要増(BtoB)や販売単価のUPなどの回答があった。
悪化要因では、売上減少や暖冬の影響による生産高減少、ネット販売との競合などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、販売価格の上昇などの回答があった。
悪化要因では、売上減少や暖冬の影響による生産減少、ネット販売との競合などの回答があった。

○経営上の問題

人口減少に伴う人手不足と需要減に対する問題に加え、税制改正への適応を懸念する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中31社、回答率47.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (3.5%)、「普通」58.1% (65.5%)、「悪い」41.9% (31.0%)、「大変悪い」0.0% (0.0%) となり、DIは▲41.9 (▲27.5) と14.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (0.0%)、「普通」58.1% (62.0%)、「悪い」41.9% (38.0%)、「大変悪い」0.0% (0.0%) となり、DIは▲41.9 (▲38.0) と3.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0% (0.0%)、「やや増加」12.9% (27.6%)、「変わらない」38.7% (41.4%)、「やや減少」29.0% (27.6%)、「減少」19.4% (3.4%) となり、DIは▲35.5 (▲3.4) と32.1ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」6.5% (24.1%)、「変わらない」48.4% (38.0%)、「やや悪化」25.8% (31.0%)、「悪化」19.4% (6.9%) となり、DIは▲38.7 (▲13.8) と24.9ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、受注増加や人件費の上昇分を価格に転嫁した為といった回答があった。
悪化要因では、受注減少や人手不足などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、値上げによる採算性の向上といった回答があった。
悪化要因では、受注減少や燃料費・人件費の上昇などの回答があった。

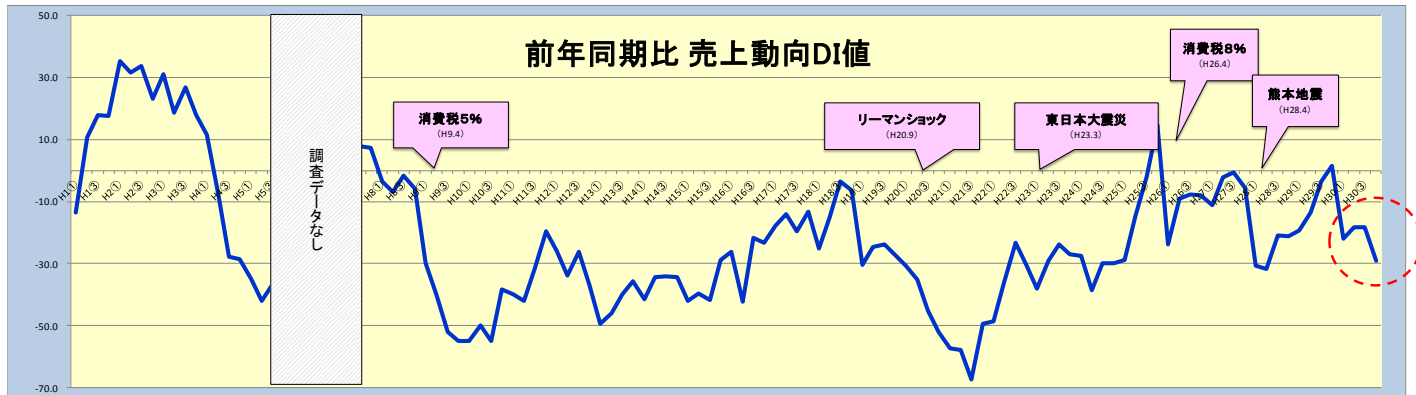
○経営上の問題

人手不足との声が多く寄せられた他、飲食店においては軽減税率を強く懸念する声寄せられた。

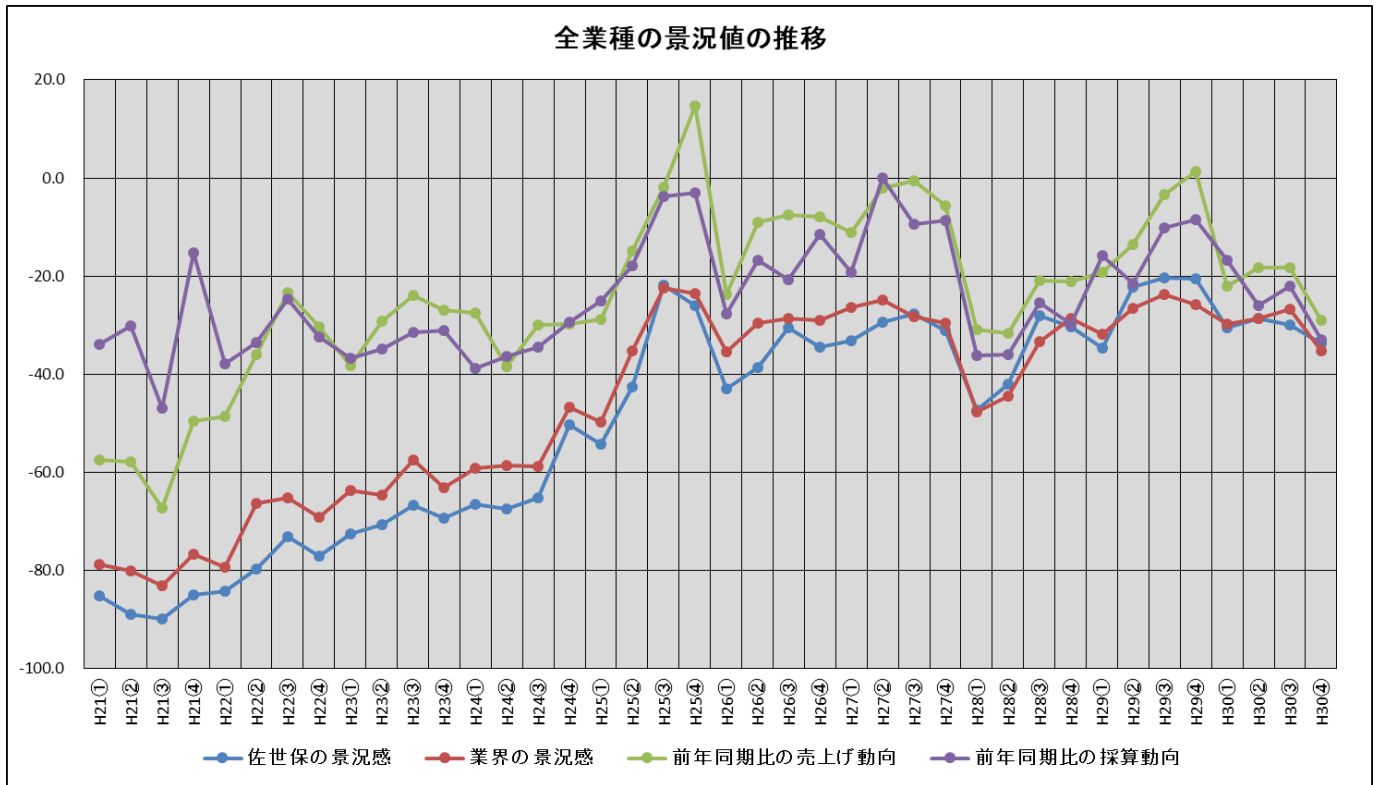
以上

平成 30 年度第 3 四半期 経営動向調査表

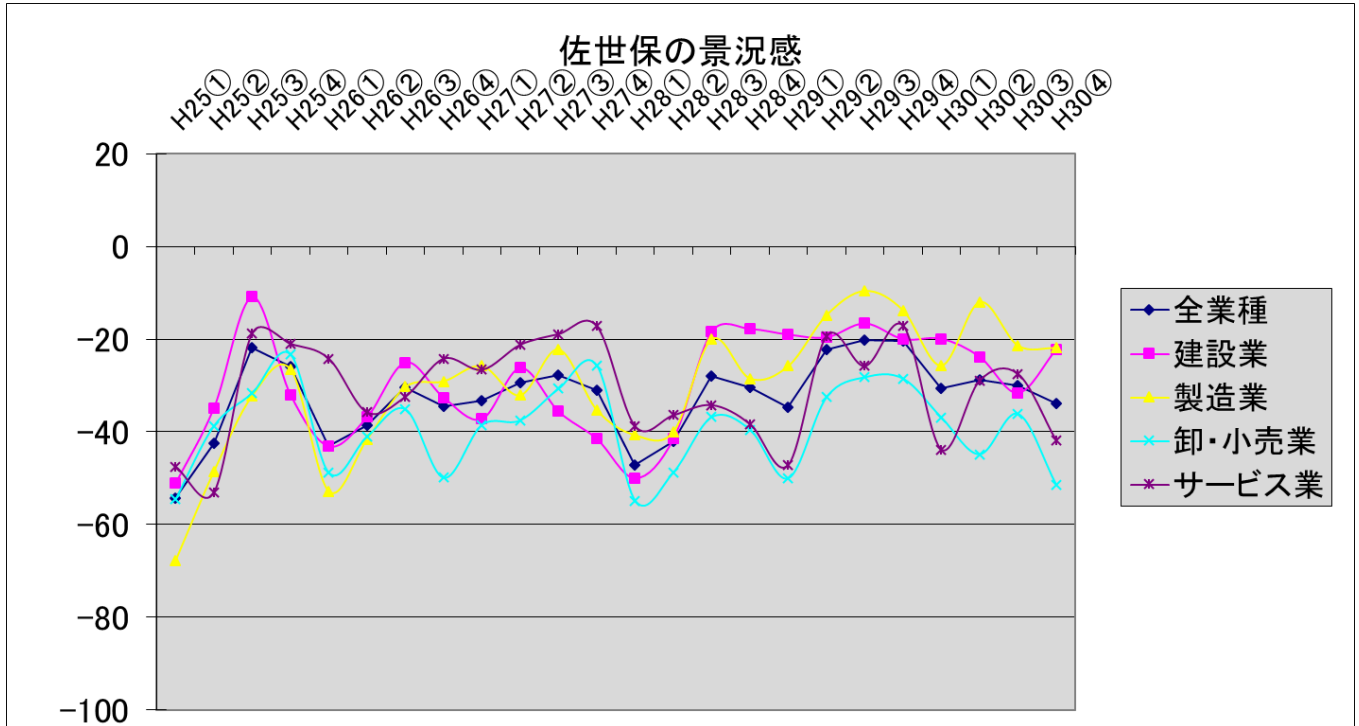
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



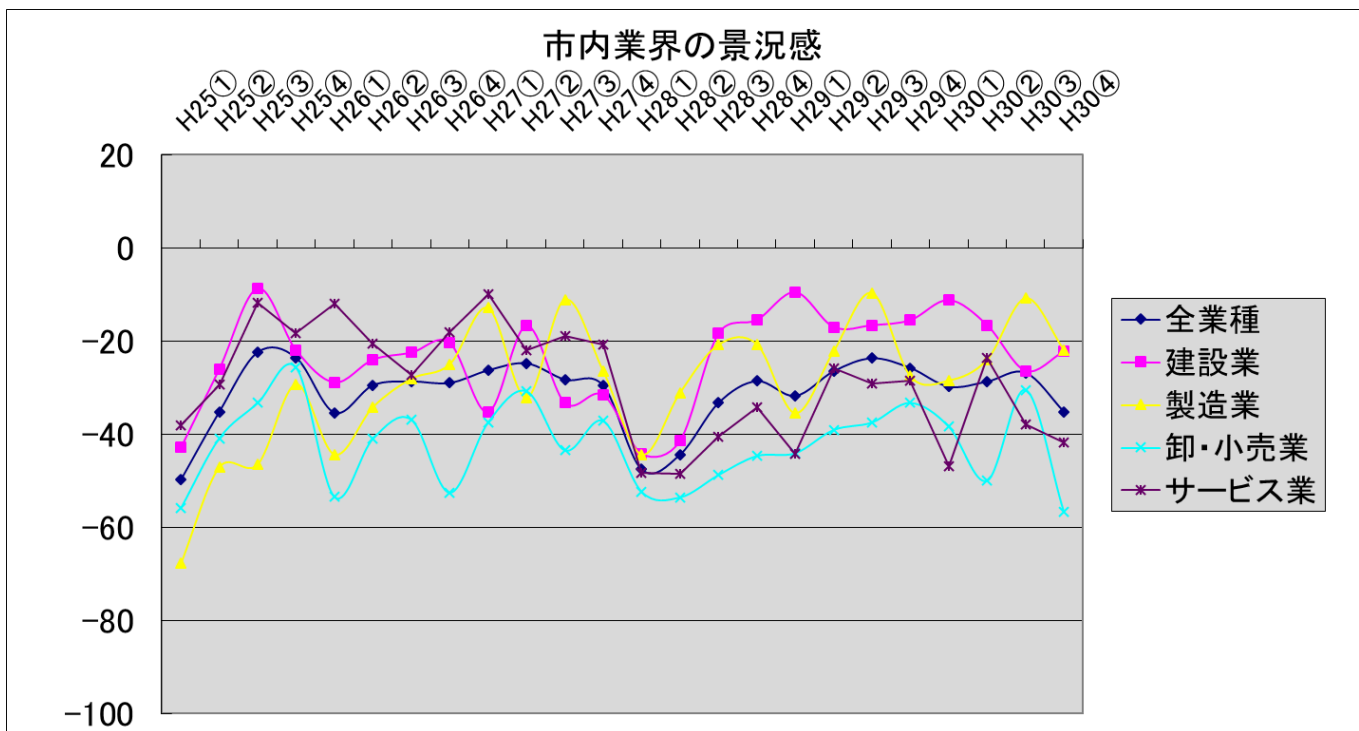
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



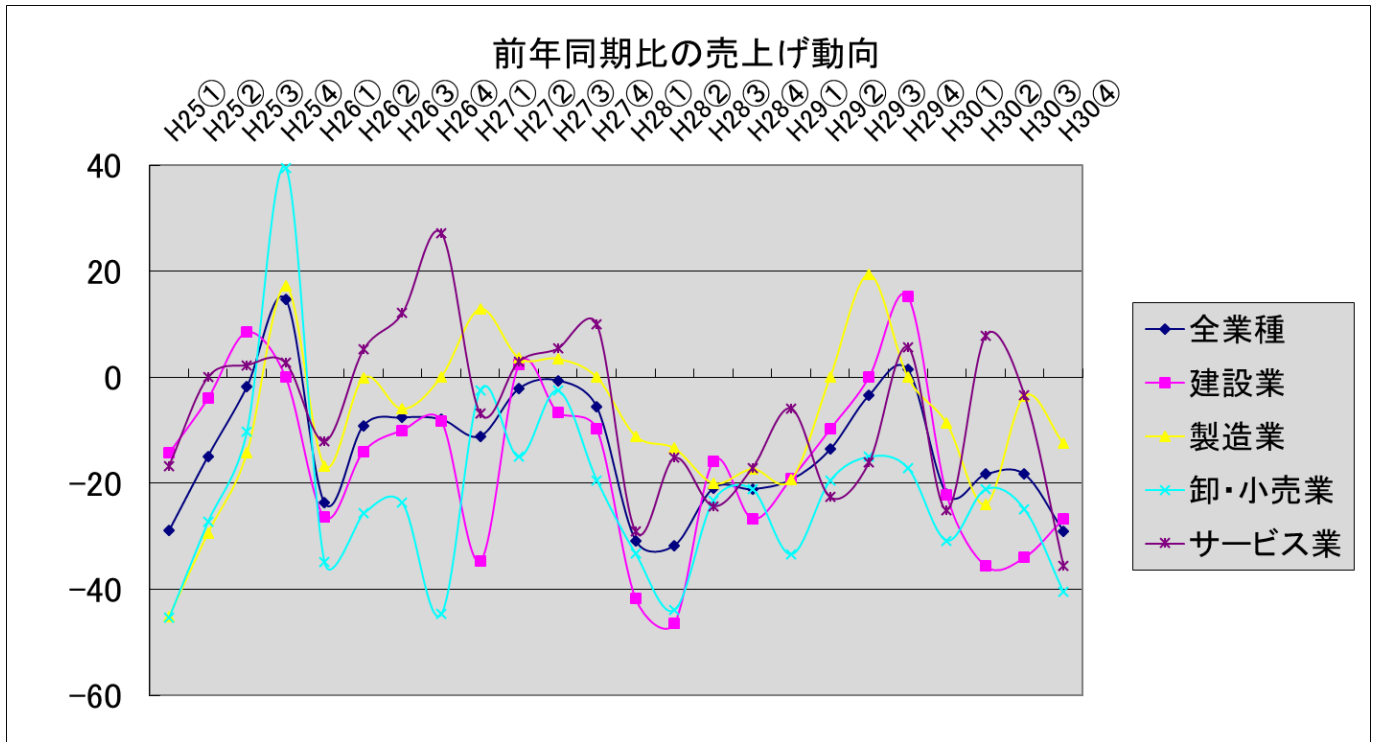
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 25 年～）】

